

会 議 議 事 録

会議の 名 称	生命倫理委員会	日 時	平成27年 5月28日(木)17:00~17:30
		場 所	大 会 議 室
出席者	委員長：森村統括診療部長 委 員：澤田臨床研究部長、内炭救急部長、柳田診療部長、 竹内外部委員、松蔭外部委員、光木看護部長 (書記) 庶務係長		
議 題 及 び 討 議 事 項			
<p>【筋ジストロフィーの臨床試験におけるアウトカムメジャー研究】 受付番号：27-5 頁数：1頁～40頁 (申請者：小児科医長 白石 一浩) 申請者説明 <背景>Duchenne muscular dystrophy (DMD)の遺伝子治療が行われているが、子どもを対象とした6分間歩行が必ずしも、治療効果を反映する指標として十分であるかは疑問視されている。 <目的>6分間歩行に変わるアウトカムメジャーを作成する。 <対象と方法> 歩行可能な6-12歳のDMD患児に対して、臨床データを調査し、2分間歩行、6分間歩行、その他の機能評価を4-6週間あけて2回行う。2回の評価値間の相関係数、6分間歩行をゴールドেনスタンダードとして、2分間歩行、その他の測定値との相関係数を算出する。本研究は観察研究であるが、個人情報を取り扱うため審査をお願いしたい。</p> <p>審査内容：研究費用に関して、当院の利益相反委員会に諮ること。</p> <p>審査結果：上記意見はあったが、承認。</p>			
<p>【神経筋疾患患者の麻疹・風疹・水痘等予防可能な伝染性疾患の免疫の有無に対する調査】 受付番号：27-6 頁数：41～49頁 (申請者：小児科医師 糸見 世子) 申請者説明 <目的>麻疹・風疹・水痘等の伝染性疾患は、予防接種制度の整備により、自然罹患率は減少している。しかし、幼児期発症の神経筋疾患では、適切な予防接種がなされていないことも、しばしばある。上記疾患は、成人期ではより重症化しやすく、呼吸器合併症の頻度も高い。また、入院中の患者では、集団感染のリスクも生じる。そのため、当院入院/通院中の神経筋疾患患者に対し、上記疾患の免疫の有無を調査し今後</p>			

の感染防止の一助とする。

〈対象〉当院入院もしくは通院中の神経筋疾患患者。

〈方法〉・患者本人および家族への予防接種・自然罹患歴の聴取。母子手帳確認。

- ・希望者に対し、各疾患の抗体価測定。（自費）
- ・免疫のない疾患に対し、予防接種の紹介。接種は任意で自費。

審査内容：特に問題なし。

審査結果：承認。